

えひめ 土地改良だより

2024. 7
Vol.531



みどり
水土里ネット 愛媛
(愛媛県土地改良事業団体連合会)



空と水の対話（松前町中川原）

CONTENTS

「えひめ水土里ネット女性の会」令和6年度通常総会を開催……1

予算情報

愛媛県の令和6年度6月補正予算の概要……2

トピックス

「農業農村整備の集い」の開催……2
令和6年度 都道府県耕地関係課長会議開催……3
耕友会ソフトボール大会……4
面河ダムへの感謝と安全祈願式を開催……5
第31回農業農村整備事業写真コンテスト受賞作品決定……6

取組事業の紹介

「大久保山ダム」における取水塔ゲート等の水中更新について……7

地方の声

多面的機能支払交付金 活動組織へのインタビュー
～活動断念から10年後の再開～……8

水土里ネット情報

令和6年度県土連理事会開催……9
令和6年度愛媛県受益農地管理強化委員会
及び愛媛県管理運営体制強化委員会を開催……9

職員紹介

愛媛県土地改良事業団体連合会 総務部 管理換地課
主事 川淵 大輝……10

お礼 ご挨拶

令和6年能登半島地震に係る被災地支援のための
水土里ネット支援金のお礼……3

お知らせ

ボランティア募集のお知らせ……5
「愛媛のたなだん」フォトコンテストを開催します！……6
イベント情報……17
農家負担金軽減支援対策事業のご案内
～土地改良事業の受益者負担金の利子負担を軽減！～……18

「えひめ水土里ネット女性の会」 令和6年度通常総会を開催

去る7月3日、県土連ビル会議室にて、県内土地改良区関係の女性役職員22名が集まり、「えひめ水土里ネット女性の会」令和6年度通常総会が開催された。

はじめに、水土里ネット愛媛の小崎専務理事より開会挨拶の後、中国四国農政局の山田農村振興部長に来賓祝辞をいただいた。

総会議事としては、役員選任、運営委員の指名、令和6年度収支予算についての3議案が協議され、全会一致により承認された。会長には、伊方町土地改良区の土居裕子理事が選出された。

総会后、山田農村振興部長による「女性の活躍推進について」と題した講演があり、真剣に話に聞き入っていた。

最後に、愛媛に来県されている都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問の宮崎雅夫参議院議員の来賓祝辞をいただき、閉会となった。



土居裕子会長



宮崎雅夫顧問



えひめ水土里ネット女性の会 役員

会長	土居 裕子	伊方町土地改良区 理事
副会長	荻田 美佳	道前平野土地改良区 理事
副会長	島瀬 祐美	愛媛県土地改良事業団体連合会 主幹
監事	武市美恵子	松山市余戸土地改良区 理事
監事	高須賀京子	東温市南方土地改良区 理事

愛媛県の令和6年度6月補正予算の概要

愛媛県では、大規模地震に備えた防災・減災対策等の推進、エネルギー価格・物価高騰への対応、地域経済の活性化など重要課題への対応を行うための経費を6月議会に提出し、原案どおり可決された。

農地整備課関連では、ため池の防災・減災対策の推進のために「ため池防災・減災対策事業費」、電気料金高騰に対する支援として「農業水利施設電気料金支援事業費」を計上した。

【令和6年度6月補正予算（農地整備課関係）】

一般会計

事 項 名	内 容	予算額
ため池防災・減災対策事業費	老朽化や耐震不足で危険な状態となっているため池の整備補強により、ため池下流域の被害防止と農業用水の安定供給を図る（三秋大池地区、鷹ノ子大池地区）	48,720千円
農業水利施設電気料金支援事業費	電気料金高騰の影響を受ける農業水利施設を所有・管理する土地改良区等の負担軽減のため、高騰分の一部を補助するとともに、省エネルギー化の取り組みを推進	13,000千円
合 計		61,720千円

「農業農村整備の集い」の開催



6月10日、シェーンパッハ・サポー（東京都）において、「農業農村整備の集い～農を守り、地方を創る予算の確保に向けて～」が、全国土地改良事業団体連合会及び都道府県土地改良事業団体連合会の共催で開催され、国会議員を含め約1,200名の土地改良関係者が全国から参集した。農林水産省からは、鈴木憲和農林水産副大臣、舞立昇治農林水産大臣政務官、高橋光男農林水産大臣政務官をはじめ、長井俊彦農村振興局長、青山健治農村振興局次長、緒方和之整備部長ら幹部が出席された。

主催者挨拶で二階俊博全土連会長は、「土地改良は日本の農業を発展させ、農村を豊かにする礎であり、「闘う土地改良」のもと、予算の確保に全力を尽くしてきた」ことを述べるとともに、「土地改良における男女共同参画の推進への取り組みが必要」と挨拶を述べた。続いて、鈴木憲和農林水産副大臣、滝波宏文農林水産委員長、細田健一農林部会長、進藤金子全土連会長会議顧問が祝辞を述べた。

佐賀県土連高田専務理事より要請案文が朗読され、全会一致で採択された後、宮崎雅夫全土連会長会議顧問より改正された食料・農業・農村基本法などの情勢報告が行われ、最後にちば水土里ネット女性の会の富山会長らによるガンバロウ三唱で幕を閉じた。



宮崎雅夫顧問による情勢報告

令和6年度 都道府県耕地関係課長会議開催

5月27日、農林水産省農村振興局主催による「令和6年度都道府県耕地関係課長会議」が農林水産省で開催された。

会議には、農村振興局、地方農政局、都道府県の関係者が出席し、長井農村振興局長ら幹部からの挨拶のほか、農村振興局各課から所管事項の説明があり、その後、各都道府県による意見交換が行われた。

長井農村振興局長からは、「食料・農業・農村基本法の改正案が国会で審議されており、成立後、令和7年3月までに新たな食料・農業・農村基本計画を策定、次期通常国会に土地改良法の改正案を提出することを目指している。」「気候変動や人口増加など、食料を巡る世界情勢が大きく変化している中、国内の生産人口は減少しており、持続可能で強固な食料生産基盤の確保が喫緊の課題。農業農村整備を着実に推進し、効果を発現させていくことが重要である。」との話があった。

つづいて、青山農村振興局次長から、「食料・農業・農村基本法の改正案には場の大区画化・排水改良など、需要に応じた生産に対応する基盤整備に加え、生産基盤の「保全」等が位置付けられた。各都道府県におかれては、引き続き現場の声を届けていただきたい。」「農業水利施設の電気料金高騰対策が9月末まで延長される。今回の対策は激変緩和措置であり、今後は省エネ化を進めていくことが課題となる。」との話があった。

また、四日市審議官から、防災・減災、国土強靱化のための5ヶ年加速化対策終了後の新たな中期計画の策定見通しについて、神田農村政策部長から、農地の適正維持に向け、農業施策（産業施策）と農村施策（地域施策）を車の両輪として取り組んで行くことの重要性について、緒方整備部長から、令和6年度予算の状況と確実な執行、入札の透明性・公平性確保と綱紀維持等について話があった。

各課から所管事項の説明があった後、47都道府県が6つのグループに分かれ、「農業水利施設等の適切な保全管理」、「防災・減災、国土強靱化の取組と大規模災害発生時における危機対応」「地域計画と基盤整備の連携の在り方の検討について」の3つのテーマについて、活発な意見交換が行われた。

お礼ご挨拶

令和6年能登半島地震に係る被災地支援のための 水土里ネット支援金のお礼

令和6年能登半島地震の復旧・復興に対し、全国の土地改良関係団体の皆様から総額64,434,823円の支援金が寄せられ、本県からは、109団体1,768,780円の支援金が寄せられました。

皆様から寄せられました支援金は、全国水土里ネットを通じて、復興支援資金として贈呈させていただきましたのでご報告させていただきます。

今回の支援金にご賛同いただきました皆様のご支援に心からお礼申し上げますとともに、被災地域の日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

耕友会ソフトボール大会

去る5月25日(土)にウェルピア伊予において耕友会ソフトボール大会が盛大に開催されました。

県農地整備課宮内課長(耕友会会長)の開会の挨拶に続き、南予地方局Aチームの日野選手による魂を震わせる選手宣誓の後、Aグラウンドは愛媛県土地改良事業団体連合会小崎専務、Bグラウンドは愛媛大学大上教授の始球式により、熱戦の火蓋が切って落とされました。

優勝
A チーム
県土連

A ブロック

県土連

11

B ブロック

中予 A

4

優勝
B チーム
中予 B

チーム名	南予 A	県土連	愛大
南予 A		×	○
県土連	○		○
愛大	×	×	
1 位	県土連		
2 位	南予 A		
3 位	愛大		

チーム名	農地	中予 A	東予 A
農地		×	○
中予 A	○		○
東予 A	×	×	
1 位	中予 A		
2 位	農地		
3 位	東予 A		

チーム名	中予 B	東予 B	南予 B
中予 B		○	×
東予 B	×		○
南予 B	○	×	
1 位	中予 B		
2 位	南予 B		
3 位	東予 B		

※失点数の少ない順

※失点数の少ない順

当日は、雲一つない好天に恵まれ、清々しい空気の中、白熱したプレーが繰り広げられ、職場の仲間や家族の応援を受け、好プレーあり、珍プレーありの笑顔の絶えない一日となりました。

今大会では、A チームにおいて、実力を備えながら優勝の栄誉に恵まれていなかった県土連チームが悲願の優勝を果たし、敵も味方も選手も応援も皆が一体となって喜びを共有した、正に清々しい大会となりました。本大会を通じ、農業農村の振興に関わる参加者の連携の絆が、より一層深まったものと確信しております。

末筆ながら、大会運営にご協力いただいた皆様、審判員を務めていただいた松山市ソフトボール協会の皆様、そして、愛媛大学をはじめ、参加いただいた皆様に感謝するとともに、また来年、お会いできる日を楽しみに、皆様のご健勝を祈念申し上げます。



日野選手が選手宣誓で翼を広げているところ



試合の様子



A チーム優勝 県土連



B チーム優勝 中予 B

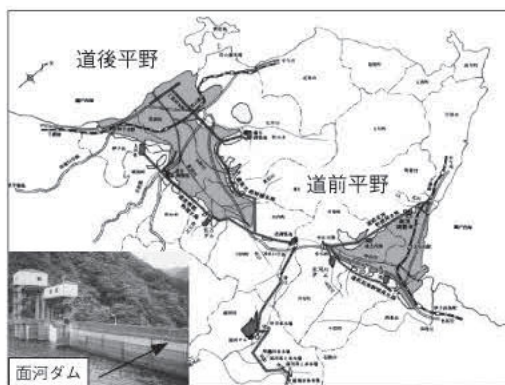
面河ダムへの感謝と安全祈願式を開催

去る5月27日(月)、道前道後土地改良区連合(理事長 加藤 章)の主催により、久万高原町笠方の面河ダムにおいて、ダムへの感謝と安全祈願式が開催されました。

当日は、あいにくの雨となりましたが中国四国農政局道前道後用水農業水利事業所、道前及び道後平野土地改良区、県(公営企業管理局、農地整備課)の関係者(約30名)が参加し、毎年豊かな稔りをもたらす面河ダムの恩恵と、先人達の偉業や水源地域である久万高原町笠方地域に感謝するとともに、6月6日から開始となる農業用水の安全な通水と秋の豊穡を祈願して、代表者によるダムへの献酒等が行われました。

この「感謝と安全祈願式」は、昭和38年に完成した面河ダム最初の満水式に端を発しており、その後、名称を「感謝と安全祈願式」に変えて、毎年農業用水配水開始のこの時期に行われるようになりました。ちなみにこの行事には、たった一度だけですが開催できなかった年(昭和58年)があり、その年は道前道後平野が大渇水に見舞われたという話があり、以来、関係者の中では絶対に欠かすことのできない大事な行事としてこれまで引き継がれています。

なお、同連合では、水源地域に感謝する心を後世へ引き継いでいくため、平成15年から、面河ダムクリーンアップ活動として、笠方地域の方々とダム周辺の清掃活動に取り組んでおり、今年は7月27日(土)に実施予定です。皆さん、ぜひこの清掃活動に参加して、ダム湖畔の爽やかな風を感じながら、一緒に心地よい汗をかきましょう!



面河ダム関係水利施設位置図



感謝と安全祈願式

お知らせ

ボランティア募集のお知らせ

面河ダムクリーンアップ活動に参加していただくボランティアを募集しています。



令和5年7月活動状況

- 1 日 時 令和6年7月27日(土)
現地集合 午前9時20分 作業時間 9時30分～11時30分まで
 - 2 場 所 久万高原町笠方(面河ダム公園)
 - 3 活動内容 公園周辺の草刈り・ゴミ拾いほか
 - 4 連絡先 道前道後土地改良区連合
TEL: 089-934-6353 FAX: 089-909-4806
E-mail: rengo@shirt.ocn.ne.jp
 - 5 募集期間 7月16日(火)まで
- * 傷害保険に加入しますので、住所、氏名、年齢をご連絡下さい。
本活動の趣旨をご理解いただき、多数の参加をお待ちしています。

第31回農業農村整備事業写真コンテスト受賞作品決定

7月5日(金)第31回農業農村整備事業写真コンテスト審査会が行われ、応募のあった作品の中から、棚田の上のミルキーな銀河が横たわる満天の星空に一筋の流れ星と田んぼにはたくさんの星を映し出した「とある棚田の銀の河に流れ星」(撮影場所：大洲市蔵川)が最優秀に選出されたほか、優秀賞2作品、佳作6作品、特別賞1作品が選ばれた。

〈最優秀賞〉	『とある棚田の銀の河に流れ星』	鎌田 浩司 氏
〈優秀賞〉	『晩秋のため池』	石山 正昭 氏
	『豊作を願って』	内海 清文 氏
〈佳作〉	『はだか麦と夕日』	谷口 正弘 氏
	『ミカンとリアス』	西野 祐司 氏
	『春を待つ』	木下 優希 氏
	『黄昏時の棚田』	水口 一也 氏
	『朝陽の恵みと緑の息吹』	藤田 篤史 氏
	『暮れる夏 ふる里の道』	前田 丈史 氏
〈特別賞〉	『わらしシ』	谷川 恵美 氏

※入賞作品は本号より随時、掲載していきます。

お知らせ

「愛媛のたなだん」フォトコンテストを開催します！

県内棚田へ訪れるきっかけをつくり、応援して頂ける方との交流を深めるため、「愛媛のたなだん」フォトコンテスト2024を下記のとおり開催します。奮ってご応募ください！

応募期間：令和6年11月10日(日)まで

対象写真：令和5年11月1日(水)以降に撮影した写真

応募方法：「愛媛のたなだん」内の応募フォームから申し込み

応募資格：県内対象棚田を訪れた方どなたでも（プロアマ不問）

賞品：優秀作品には棚田米等各地の農産物をプレゼント

フォトコンテストの対象地域、応募方法など詳細については、
下記 URL をご確認ください。

URL：https://ehime-tanadan.jp



えひめの棚田・段畑サポーター



(ホームページ)



(公式 X)

「大久保山ダム」における取水塔ゲート等の水中更新について

南予地方局農村整備課

大久保山ダムは、愛媛県の最南端である愛南町の緑地区に位置し、県営かんがい排水事業及び上水道施設整備事業の共同事業で造成され、昭和49年に着工し、昭和54年に完成した。

本地域は、平野部における水稻、ブロッコリー等の野菜や傾斜地における柑橘栽培が盛んで、河内晩柑の地域ブランド「愛南ゴールド」は特産品となっている。ダムは、これらの農地293ha及び上水約1万1千人の重要な水源となっているが、造成後35年以上経過し、老朽化が進んでいたため、平成24年度から「県営基幹水利施設ストックマネジメント事業・大久保山地区」に着手し、施設の保全対策を進めてきた。

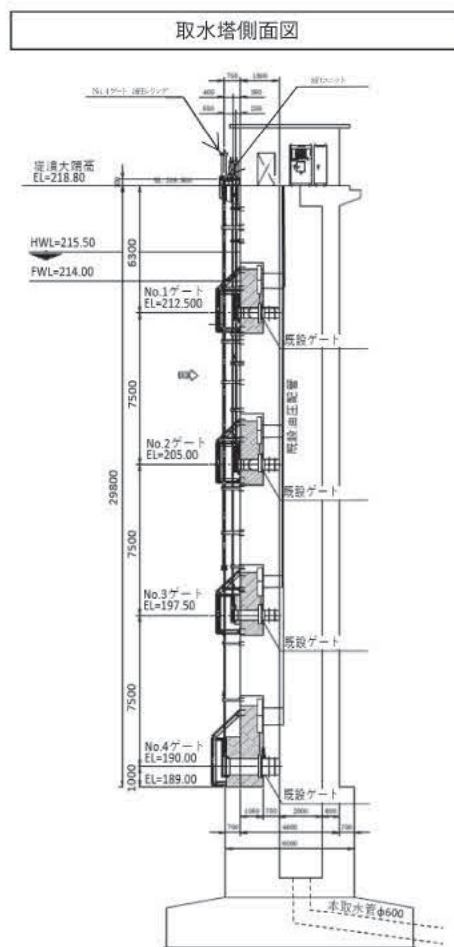
ダムの取水塔に設置している4門のスライドゲートは、油圧ユニットの故障から、上から3門は「開」状態、残り1門は「閉」状態で操作不能となっており、取水の安全確保の面から早期の改修が必要であった。



取水塔の改修は、上水を安定して供給するためダム水位を下げるできないため、潜水土による水中工事で実施した。工事期間中の上水の取水は、取水による潜水土の吸込み事故を防止するため、湖面上に設置した仮設フロート台船から、サイホンによる仮廻管水路にて、下流の調整水槽まで仮取水することとした。また、緊急事態に備え、事前に県・町・関係業者で「連絡協議会」を設立し、仮取水が停止した場合の緊急連絡体制や復旧対応等について念入りに協議、検討を行った。

取水施設は、当初造成時、油圧シリンダは各ゲートの上に、油圧配管は水中に設置されていたが、今回の更新では、安全性とメンテナンス性を考慮し、油圧ユニットから油圧配管、油圧シリンダまで気中に設置することとし、取水塔の凹部は水中コンクリートで埋め、ゲート及びスクリーンは取水塔前面に配置する設計に変更した。更新工事は、6月下旬にスクリーンの撤去から開始し、ゲート、油圧シリンダ・ユニット等撤去後、凹部の取水短管設置、コンクリート充填、取水ゲート、スクリーン設置等の水中作業は12月中旬に終了した。1月に機側操作盤を設置、試運転調整して2月末に工事を完了後、施設管理者の町水道課に操作説明し、施設を引き渡した。

施工中は、油圧配管内に長年滞留していた作業油の漏洩や、ダム水位低下により仮取水が停止する事態も発生したが、その都度「連絡協議会」等関係機関で協議し、潜水作業の安全性を確保しながら、上水の供給を止めることなく、無事に工事を完了することができた。



多面的機能支払交付金 活動組織へのインタビュー ～活動断念から10年後の再開～



1. 組織の概要

近家活動組織は、宇和島市の南に位置する旧津島町で活動する組織である。平成3年度から平成8年度には、土地改良総合整備事業 近家地区として、23.6haのは場整備を行っており、現在活動を行う対象農用地は、水田21.2haと普通畑2.2haである。令和4年度から活動を再開したため、代表の濱田翼さんにインタビューに伺った。

2. 活動断念から活動の再開

近家活動組織は、平成19年から平成23年の期間、多面的機能支払の前身である、農地・水・環境保全向上対策に取り組んでいたが、地域の高齢化や担い手不足もあり、活動を断念したという。しかし、その結果、地域では徐々に水路の泥上げ、農道及びため池も草刈り等地域資源の基礎的な保全活動にも支障が出てきた。その中で、「もう一度地域全体で、地域資源を守っていく、受け継いでいくためには、多面的機能支払交付金を活用することが必要と感じた」と代表の濱田さんは語る。「やるなら、地域全員を巻き込んでいこう」と強く思い、一軒一軒説得に回り、組織の復活のため奔走した。



インタビュー風景(左手前:濱田さん)



3. 活動再開を経て感じること

「問題の解決がしやすくなった。この交付金はとてもありがたい」と濱田さんは言う。続けて、「交付金をもらえるようになり予算的にも余裕ができた。草刈りや泥上げ等の活動の際には、日当をしっかりと支払うことができるようになった。そうすると、人が集まってくる。人が集まると、問題や困っていることについて情報を共有し、その解決に向けて話をすることができる。これがとても良かったと思う。また、メンバーも増えて、書類の作成や、ラジコン草刈り機、ドローンを使いこなす若者、適材適所で頑張ってくれている」と活動の再開にうれしそうな顔を浮かべる。



4. 今後の展開

現在は、農地維持支払のみの活動となっているが、水路の老朽化も著しいことから、資源向上支払(共同・長寿命化)にも取り組んでいくため、宇和島市に相談している。また、将来的には地域の子供たちも巻き込みたいと、他のイベントにも見学に行ったこともある熱心な濱田さん。「僕は、土台だけ作って、早く違う人に代表を任せたいです。他にももっと違うことも進めていきたいから。だからいろんな人に声をかけています」と笑いながら語る姿がとても頼もしく感じた。



偶然見つけ購入した
代表の濱田さんのハマミかん

令和6年度県土連理事会開催



6月24日(月)、県土連ビル会議室において令和6年度第1回理事会を開催した。

篠原会長による開会挨拶のあと、議事に入り原案どおり可決承認された。議事は以下のとおり。

第1号議案 推進協議会委員の選任並びに協議会長、副協議会長の選任について

令和6年度愛媛県受益農地管理強化委員会 及び愛媛県管理運営体制強化委員会を開催

去る6月28日県土連ビル会議室において、令和6年度愛媛県受益農地管理強化委員会及び愛媛県管理運営体制強化委員会が開催された。

本会専務理事の小崎委員長より挨拶の後、委員長を議長として下記事項の検討を行い、原案のとおり承認された。

(1) 愛媛県受益農地管理強化委員会

第1号議案 令和5年度土地改良区体制強化事業（受益農地管理強化対策）実績について

第2号議案 令和6年度土地改良区体制強化事業（受益農地管理強化対策）実施計画（案）について

(2) 愛媛県管理運営体制強化委員会

第1号議案 令和5年度土地改良区体制強化事業（施設・財務管理強化対策）実績について

第2号議案 令和6年度土地改良区体制強化事業（施設・財務管理強化対策）実施計画（案）について



愛媛県受益農地管理強化委員会



愛媛県管理運営体制強化委員会

イベント情報

イベント	開催日	場 所	問合せ先	TEL	HP アドレス
伊方調整池周辺 周辺施設の清掃、美化活動	7月	伊方町川永田	南予用水 土地改良区連合	0894-24-4835	https://www.nanyoyousui.or.jp/
下林地区出前授業 魚つかみ大会	7月	東温市佐古ダム	道後平野土地改良区	089-943-0922	http://dogo-kai.sakura.ne.jp/
中川原地区ひまわり祭り 魚つかみ大会	7月	松前町 中川原地区	道後平野土地改良区	089-943-0922	http://dogo-kai.sakura.ne.jp/
面河ダム公園周辺清掃活動	7月	久万高原町笠方 面河ダム	道前道後平野 土地改良区連合	089-943-6353	なし
南予地区管理体制整備推進 協議会施設研修会	7月	南予用水施設	南予用水土地改良区連合	0894-24-4835	https://www.nanyoyousui.or.jp/
施設見学	7月	西条市 志河川ダム	道前平野土地改良区	0898-68-7673	なし
松山市市民レガッタ	8月	東温市佐古ダム	東温市教育委員会 道後平野土地改良区	東温市 089-964-1500 道後平野 089-943-0922	http://dogo-kai.sakura.ne.jp/
佐古ダムボート教室	8月	東温市佐古ダム	東温市教育委員会 道後平野土地改良区	東温市 089-964-1500 道後平野 089-943-0922	http://dogo-kai.sakura.ne.jp/
平井地区（今吉分館）魚つかみ大会	8月	松山市平井地区	道後平野土地改良区	089-943-0922	http://dogo-kai.sakura.ne.jp/
牛渕地区魚つかみ大会	8月	東温市牛渕地区	道後平野土地改良区	089-943-0922	http://dogo-kai.sakura.ne.jp/
東蓮寺ダム 周辺施設の清掃、美化活動	9月	宇和島市吉田町 東蓮寺	南予用水土地改良区連合	0894-24-4835	https://www.nanyoyousui.or.jp/

農家負担金軽減支援対策事業のご案内

～土地改良事業の受益者負担金の利子負担を軽減！～

1. 水田・畑作経営所得安定対策等支援事業【無利子貸付】

土地改良法に基づく土地改良事業等の実施地区において、要件を満たすことが確認と見込まれる地区に対して、経営所得安定対策等支援計画に従って、受益者負担金の5/6に相当する額を限度に無利子貸付

対象となる事業

土地改良法に基づく事業であって、①②のいずれにも該当しない事業

- ①担い手育成農地集積事業（公庫の無利子貸付）の対象事業
- ②水利施設等保全高度化事業実施要綱に基づく水利施設整備事業のうち農地集積促進型

採択要件（1～3のいずれかに該当）

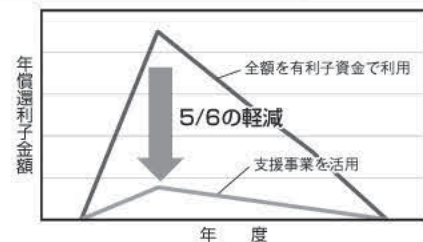
1. 支援計画で定める目標年度までに、担い手農地利用集積率が一定の割合で増加すること。

採 択 時	目 標
80%未満	10ポイント以上増加*
80～90%未満	5ポイント増加
90～95%未満	95%以上
95～100%未満	シェア増加
100%	維持

※目標集積率60%未満は採択しない。

2. 支援計画で定める目標年度までに、高収益作物*の生産額がおおむね20%以上増加すること。
※高収益作物とは、主食用米と比べて面積当たりの収益性が高い作物（野菜、花き・花木、果樹など）をいう。
3. 輸出事業計画の認定規程に基づき認定された輸出事業計画との連携が図られること。

支払利子の比較（イメージ）



借入額が多ければ利子が大幅に軽減！

例えば、54百万円を6年間（合計3億24百万円）1.25%で借りた場合、約35百万円の利子が軽減される。

償還期限・償還方法

- ・25年以内（据置期間10年以内を含む）
- ・均等年賦償還

2. 農地有効利用推進支援事業【利子助成】

農地耕作条件改善事業を実施し、担い手への農地利用集積がおおむね8割以上となる地区に対して

- (1) 受益者負担金の償還利子相当額の5/6を限度として助成〔事業費助成型〕
- (2) 農地中間管理機構が農地の出し手（所有者）に対する賃料の一括前払に必要な借入資金に係る償還利子相当額を助成〔一括前払助成型〕

※農地利用集積が既に8割を超えている地区は対象としない。

なお、災害時に利用できる災害被災地域土地改良負担金償還助成事業もあります。

お問い合わせは、愛媛県土地改良事業団体連合会総務部管理換地課（TEL089-927-7311）まで。

第31回 農業農村整備事業 写真コンテスト 入選作品の紹介



最優秀賞「とある棚田の銀の河に流れ星」

撮影場所：大洲市蔵川

撮影者：鎌田 浩司



佳作「暮れる夏 ふる里の道」

撮影場所：西予市宇和町野田

撮影者：前田 丈史



暑中お見舞い申し上げます 令和6年7月

監事	監事	代表	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	専務理事	副会長	副会長	副会長	会長	愛媛県土地改良事業団体連合会	農地整備課長	農業振興局技術監	農業振興局長	部長	愛媛県農林水産部
志波	砂田	佐川	清水	坂本	管家	二宮	河野	加藤	秀野	世良	玉井	門崎	小智	武橋	高城	篠原	宮内	笠見	小川	久保	
一虎	善紀	文雅	浩雅	夫隆	久忠	康章	昭隆	臣親	久敏	也宜	次勝	典邦	三征	郎一	実		真司	隆俊	英伸	圭一	
同豊																					

水土里ネット愛媛



愛媛県土地改良事業団体連合会

本部 松山市愛光町1番24号(県土連ビル)
Tel (089)927-7000(代表) Fax (089)927-7001
ホームページ <http://www.ehimedoren.or.jp>
東予事務所 西条市壬生川111番地1
Tel (0898)76-7255(代表) Fax (0898)76-7257
南予事務所 西予市宇和町卯之町3丁目434番地1
Tel (0894)62-7522(代表) Fax (0894)62-7525

